

「にいがた農業応援ファンド」の取組み

JAグループ新潟では「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を不断の取組みとしていくため、平成28年度からの3年間に続き、令和元年度から令和3年度の3年間における農業者への支援パッケージとして、「にいがた農業応援プログラム」を展開しています。

中でも、「にいがた農業応援ファンド」について、令和元年度は、担い手への支援を更に強化するため、園芸生産の規模拡大や新たに園芸生産に取り組む担い手等への支援事業として「園芸生産拡大支援事業」を創設しました。また、「親元就農応援事業」を「新規・親元就農応援事業」に変更し、助成対象に新たに就農する農業者を追加したほか、「商談会等販路拡大の活動支援事業」を継続し、農畜産物の販路拡大に取り組む農業者を支援しました。

農業者の皆さまより多数のご応募をいただき、審査の結果、3事業合計で318件・67,592千円を採択しました。

令和2年度は、「新潟県園芸振興基本戦略」で推進する販売額1億円増の産地拡大に取り組む担い手への支援事業として「1億円園芸産地チャレンジ事業」を創設する等、今後も農業者の取組みを後押しする、より踏み込んだ支援に努めてまいります。

にいがた農業応援ファンド取組実績（令和元年度）（単位：件、百万円）

事業名	申請件数	申請額	採択件数	採択額
園芸生産拡大支援	216	48	216	48
うち担い手向け	212	39	212	39
うち産地向け	4	9	4	9
新規・親元就農応援	68	13	68	13
商談会等販路拡大の活動支援	34	5	34	5
合 計	318	67	318	67



にいがた農業応援ファンドを活用して導入した農機具

令和2年度のプログラム実施内容

1.「にいがた農業応援ファンド」の展開

直面する課題の克服にチャレンジする担い手のあと一歩を応援し、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」の実現に寄与することを目的としたファンドを展開する。

(1)内容

課題克服にチャレンジする担い手に、必要な資金の一部を助成する。

(2)助成額

80百万円

(3)助成対象事業

- ①1億円園芸産地チャレンジ
- ②園芸生産拡大支援
- ③新規・親元就農応援
- ④商談会等販路拡大の活動支援

2.担い手向け金融支援の拡充

(1)「担い手支援資金」(愛称:アグリV)の継続

利子補給・保証料助成後の当初3年間における実質金利を0.5%(保証料込)で提供するアグリVの取扱いを継続する。

(2)保証料助成の拡充

以下の資金にかかる県農業信用基金協会保証料の助成を継続するとともに、短期資金の融資限度額を増額する。

- ①長期資金:農業近代化資金、農機具ローン、アグリマイティー資金
- ②短期資金:スーパーS資金、サポートA、アグリマイティー資金
(助成対象資金111億円)

3.プログラムの推進・支援体制の構築

(1)「JAグループ新潟担い手サポートセンター」との連携

中央会・連合会による事業横断的な担い手サポートセンターと連携し、担い手の多様なニーズへの総合的な対応に努める。

(2)専門家等の活用による相談支援機能の強化

担い手サポートセンターは、農業の現場に精通した専門家等の活用により、担い手の相談支援に必要な体制を確保する。

にいがた農業応援定期貯金「ほほ笑み」の取扱い

県下23JAでは、平成28年度より、個人の方向けに、新潟県内のJA直売所やAコープ等(一部店舗を除く)で利用できるクーポン券を特典とした「にいがた農業応援定期貯金(ほほ笑み)」を取り扱っています。

クーポン券を使って、新潟県の豊かな大地で育った農作物を購入いただき、そのおいしさを実感していただくことで、JA利用者の満足度をより一層高めるとともに、県産農畜産物の消費拡大、新潟県農業のさらなる発展に貢献してまいります。

令和2年度の取扱期間は、5月1日～9月30日となっています。

